

泥まみれ遊んでレンコン栽培 鳴門



先を争ってゴールを目指す。思い通りに足は動かない＝鳴門市大津町段関

レンコン栽培を通して地域やそこに棲む生き物と触れ合う自然再生型農業プロジェクト「えんたのれんこん2011」が14日、鳴門市大津町段関で始まった。種付けから収穫までを体験するイベントで、親子ら約50人が参加した。

楽しみは水田での泥んこ遊び。有機肥料をまいた田に水を張り、植え付け用のレンコンを乗せる「田舟」でレースに挑む。引き手が足を取られてもんどり打って転げると、乗り手も舟から放り出され泥だらけに。「あと一步」と睡から盛んに声援が送られた。

走り込んでゴールの草を奪う「どろんこフラッグ」でも参加者は全身泥まみれになっていた。こうして遊びながらならした水田に、みんなでレンコンを植え付けた。

「えんたのれんこん推進会議事務局」は、7月に手入れ、11月に収穫祭を計画している。参加は自由。詳細は「えんたのれんこん」のホームページ (<http://enta-no-renkon.uzusio.net.com/>) へ。 (長谷川大彦)